



2015年
日本内戦
～プロローグ～

卯月京

「っち、また弾詰まりか。これだから、半世紀落ちの64式は」

俺の64式は弾丸を排出に失敗していた。

その間も西軍の銃撃は止まない。

そう言うと、後ろにいた隊長がM4-A2を投げて来た。

「とっておきのM4だ。ただ、弾が残り少ないから、慎重に撃て」

「サンクス！まったく、AK-74のタフさにはまいるぜ」

「命中精度ならこっちが上だ、なんとかしろ」

まったく、いつの時代も管理職なんてこんなものだ。特に役人上がりの奴は。

ここは、東名の海老名付近。東西両方の陣地に土のうが積まれている。俺は、上り車線を防衛している。下り車線はなんとか西軍を食い止めているようだ。部隊規模はどちらも一個小隊、20名ぐらいだ。とりあえず、致命傷を追った奴はいない。どちらも西軍も攻めあぐねているようだ。こういう時は防衛側の方が有利だ。

俺は、東軍の義勇兵だ。この内戦が発生した時は、関西の東関東大震災の被災民キャンプにいた。しかし、地元民からの差別を受け、仕事も見つからず、イライラした時にあれが起こった。関西広域連合による建国宣言と、被災民のデモの警察による弾圧事件だ。3.11弾圧事件。

政府は東関東大震災の原発事故の収束後、関西へ移動した。しかし、天皇陛下は東京に残された。これは、いまだ定かではないが、この時、政府、日銀は全ての資産を関西に移したと言われている。特にアメリカ国債の行方が定かではない。

そもそも、データなのか、実物の証書なのかも現場の兵士にはわからない。どちらにしろ西軍が財務省、日銀を引き継いだことに国際的にはなり、それによりに二大大国の代理戦争になった。

そもそも明確な開戦の宣言などもなかった。3.11弾圧事件が引き金と今は言われているがそれさえ定かでない。3.11弾圧事件、そもそも復興の方針で政府が割れたことがある。大量の被災民が押し寄せた西日本を再開発すると、東日本の復興を目指すのに政府が割れ、それぞれに関西広域連合と東日本広域連合がバックについた。この時点では、政府も自衛隊も割れていなかった。それを崩したのが3.11弾圧事件だ。関西に避難していた被災者が西日本の再開発に反対、すなわちいつかは東日本に戻るために東日本の復興に賛成する、3万人デモを行った。そのデモの鎮圧に関西広域連合は警察を投入した。デモは一週間に渡り、東日本広域連合の警視庁と警察が関西広域連合の警察に反撃を始めた。そして、さらに事態を仲裁しようとした自衛隊に反乱が起こり、東日本についてことがはじまりと言われている。

そのまま内戦化して、今日に至っている。

俺は3.11弾圧事件の時、デモに参加していたため、西日本の警察からはお尋ねものになり、東軍に参加している。

「そろそろ、日暮れだ。銃撃がやんだら、キャンプまで各自撤退しろ」

既に空は暗くなりかけている。特に協定はないが、両軍ともともと素人を兵士に仕立てあげた義勇兵が中心なので、夜間行動はできない。また、50Hz地域が戦場になると電力不足のために投光器なども制約を受けるのもある。

俺は、陽が沈んだところで、キャンプへ後退した。隊長はあいかわらず早々、キャンプに戻っていた。

「岳、今日もお疲れ」

「隊長、あの64式はその場に放置しました。明日からは、このM-4を使います」

「構わないが、5.56の弾丸は少ないから、丁寧に使え。最悪、5.56の補充が間に合わなかったら、9mmのサブマシンガンで我慢してくれ」

「了解しました」

「さて、飯にするか」

そういうと二人で食堂へ向かった。

「今日はカレーか」

当番兵は俺を見ると、大盛りをよこした。

「だから、俺はそんなに食わないっていつも言っているだろ」

そう言うと、当番兵は、

「岳さんは、うちの部隊のエースなんですから、当然ですよ」

俺は、礼を言い、テーブルで隊長と向かいになって食べ始めた。

「やっぱり、米はうまいな」

「ええ、西軍のやつらはまずい長粒米ですからね」

「東軍が米どころだけは死守したのは正解だった」

これも、今となっては定かではないが、関西の避難民キャンプでは日本の短粒米は配給されなかった。長粒米が配給された。この頃から、バックに中国がいたため、配給品は輸入品だったと言われているが定かではない。

内戦が始まり、2年が経過している。当初、国連も介入しようとしたが、アメリカ国債の行方がわからないため、アメリカが及び腰になり、国連の介入は失敗に終わった。東軍は天皇制を盾にして、日本国の正当性を主張している。一方、西軍は資産を盾に正当性を主張している。アメリカは国債を大量に放出されることを恐れて、表立ってどちらにも味方できなかった。一方、西軍は早いうちから中国を味方に引き入れていた。対抗上、アメリカは東軍に裏から物資を提供している。